

夢窓幼稚園通信第73号

2022年 1月11日



時間は連続しているとはいえ、年があらたまるとやはり「新しい時を迎えた!」と、気持ちがちり変わります。

「あけまして おめでとう」と、もくれんの花のつぼみも桜の芽も やわらかくふくらんで新春の到来をよこんでいるようです。

そこへ 様々な鳥たちがやってきては枝先にとまってまた彼らも うれしそうです。

長い年月、園庭で私たちといっしょに新しい年を迎え、子どもたちを見守ってくれている老木にも、毎年やってくる鳥たちにも、それぞれ 営みを重ねた 言わば「伝記」があるのだと思いました。

私たちは 毎日の生活を通して、結果として それぞれの自分の伝記の新しいページを書き加えていきます。

私たちが自らの伝記をデザインしていくときに、二つの働きが大切になってくることでしょう。

ひとつは、「自分はどんなふうに住きたいのか」という、目標や夢を含めた 人生を組み立てていこうとする「意志」の働きです。

そして もうひとつは、「私」の周りにある様々を存在たちの伝記を受けとることがよることであり、それらの意味深さを知ることが、世をならぬ私自身の人生そのものでもある、という「感情」の働きです。

さらに もし、三つ目を付け加えるとすれば、これら二つをひとくくりにした「私に与えられている役割が、誰かのよることや幸せと結びついて少しでも果たせますように」という「祈り」なのかもしれません。

園庭を眺めながら、一年のはじめに 今年はあるためて そんなことを思いました。今年がよき年で ありますように!

園長 升光 泰雄

